

(様式2)新規評価シート

建設部 砂防課

事業名		急傾斜地崩壊対策等事業		路河川名等		(急)久保	
事業毎の通番		2		市町村名		北相木村	
事業目的		当箇所は相木川右岸に位置し、勾配35° 最大高さ53mの急斜面で、保全対象として人家5戸、寺院、村道、地域防災計画記載の避難所である北相木小学校が存在する。斜面は風化による侵食が進み不安定な状況となっており、平成26年4月には落石が発生し、更なる崩壊の危険性が高い。このため早急に対策を実施する必要がある。					
しあわせ信州創造プランにおける位置付け		4-1 地域防災力の向上(災害に強い地域づくり)		事業実施の根拠法令等		急傾斜地法	
関連する事業、計画等							
保全対象・範囲 受益対象・範囲		保全対象: 人家5戸、寺院、村道久保線1号、北相木小学校【避難所】					
着手年度		平成28年度		事業期間		4年間	
完成年度(見込み)		平成31年度		費用対効果		4.3	
全体事業内容(主な工種)		法面工L=200m		事業費(千円)		300,000	
年度事業内容(主な工種)		・地質調査 1式 ・詳細設計 1式		財源内訳(千円)		15,000	
				国庫		135,000	
				その他		30,000	
				県債		121,500	
				一般財源		6,075	
事業効果		直接的効果(定量的・定性的) 施設整備による土砂災害特別警戒区域指定の解除					
		間接的効果(定量的・定性的)					
必要性		○人家戸数:5戸 ○公共施設数:2施設 ○要配慮者利用施設の有無:無 ○避難場所:避難所有					評価
							B
重要性		○過去の災害履歴:10年以内に1回以上 ○交通遮断による地域経済への影響:中 ○地域防災計画上の位置づけ:有					評価
							A
効率性		○費用便益比(B/C):4.31 ○事業期間:4年間 ○工法等の比較検討:無					評価
							A
緊急性		○斜面の高さ:平均高さ40m Hmax53m ○斜面平均勾配:35° ○地質:段丘堆積物 ○オーバーハング、遷急線、谷地形、凸地形:遷急線					評価
		○植生:普通 ○保全対象の位置:がけ下2戸、がけ上3戸					A
計画熟度		○事業情報の共有:関係者以外にも周知 ○地域の取り組み:協力的である ○地域の合意形成:事業目的について合意形成が図られている ○住民との協働:防災体制の整備					評価
							A
部意見		保全対象に人家5戸、避難所である北相木小学校等がある。斜面には不安定な浮石も見られ、H26.5には落石があり早期に対策を行う必要がある。		行政改革課意見		勾配35°、高さ40mの急斜面が風化等により不安定な状況で、保全対象に人家、避難所となる小学校があることから、重要性、緊急性が認められる。	
						評価結果 総合評価	
						○ A	

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)

位置図



平面図



事業概要説明図表

【整備の必要性がわかる状況写真等】



事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	相木川右岸に位置し、勾配35°、最大高さ53mの急斜面で、保全対象として人家5戸、寺院、村道、北相木小学校が存在し、地域防災計画記載の避難所である北相木小学校が土砂災害防止法の特別警戒区域に入っている。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	平成26年5月に北相木小学校裏に落石があり、地元より早期の斜面対策を求められている。
③事業説明等の経緯	平成24年1月土砂法説明会開催。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	詳細設計時に配慮について検討の予定。
⑥地域活性化への影響と配慮	施設整備による特別警戒区域の解除により、付近の土地利用の活性化が期待される。
⑦その他	

事業代表地点の緯度経度
北緯:N 36° 03' 38"
東経:E 138° 33' 02"